

令和4年4月8日発行

演劇・映画の専門図書館

# 松竹大谷図書館ニューズレター

No. 289(2022年4月)

## ■鎌倉市川喜多映画記念館 企画展『追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語』が開催中です

現在開催中の、鎌倉市川喜多映画記念館の企画展『追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語』に、当館スタッフの飯塚が見学に行っていましたので、ご報告いたします。

昨年8月に逝去された山内静夫氏は、作家里見諱の四男に生まれ、松竹に入社し映画やテレビのプロデューサーとして活躍、特に、小津安二郎監督とは『早春』以降、遺作となった『秋刀魚の味』まで6作品の製作を担当し、公私ともに親しい間柄であったことが知られています。また佐田啓二の遺族とも家族ぐるみの付き合いを続けていました。退職後は、鎌倉文学館の館長や鎌倉同人会の会長などをつとめ、鎌倉の文化人を代表する存在でした。

今回の展覧会では、かかわりの深い松竹映画のポスターを展示するとともに、山内静夫氏が2013年に鎌倉のケーブルテレビの番組『こちら市民放送局 鎌倉とともに 八十年の散歩』でインタビューに応じたときのビデオなども見ることができます。



松竹大谷図書館からは、蒲田、大船両撮影所の正門付近の写真を解説にお使いいただいております。

また館内の上映資料室のスクリーンでは、展覧会にちなみ、『秋日和』『青春残酷物語』『夜叉ヶ池』『キネマの天地』『砂の器』など11作品の上映が予定されています。



### 目次:

鎌倉市川喜多映画記念館 企画展『追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語』が開催中です	1-2
ミニ展示「OSK日本歌劇団創立100周年」関連資料のご紹介	2
歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第4回が掲載されています	3
新着資料案内	3
資料提供	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
利用案内	4



入場者には「私の好きな松竹映画」を記す用紙が渡され、記入した用紙をボードに貼ることができます。

大河ドラマ人気で賑わう小町通りの喧騒から一步はなれ、古き良き鎌倉の面影を残す住宅街にあるこの記念館で、懐かしい映画に思いを巡らすのはいかがでしょうか。

※写真は許可をいただいて撮影しております



鎌倉市川喜多映画記念館外観

■開催情報■企画展『追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語』

会場:鎌倉市川喜多映画記念館  
住所:〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2丁目2番12号/TEL:0467-23-2500/会期:2022年3月18(金)~6月12日(日)/開館時間:9:00-17:00(入館は16:30まで)/休館日:月曜日(3/21、5/2は開館)、3/22(火)/企画展観覧料:一般200(140)円、小・中学生100(70)円 ※( )内は20名以上の団体料金  
▽企画展「追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語」  
[https://kamakura-kawakita.org/exhibition/202203\\_ysshochiku/](https://kamakura-kawakita.org/exhibition/202203_ysshochiku/)  
▽鎌倉市川喜多映画記念館HP  
<https://kamakura-kawakita.org/>

■ミニ展示「OSK日本歌劇団創立100周年」関連資料のご紹介

現在、当館閲覧室では、所蔵資料ミニ展示「OSK日本歌劇団創立100周年」を4月27日まで開催しています。今回は、プログラムを中心にOSKの関連資料をご紹介します。

本年2月に大阪松竹座、3月には新橋演舞場にて『OSK日本歌劇団創立100周年記念公演 レビュー春のおどり』が上演されました。この『春のおどり』はOSKの代表的な演目として親しまれていますが、その初演は古く、大正時代にさかのぼります。OSKの前身である「松竹楽劇部」は、大正12[1923]年5月の大阪松竹座の開場記念公演と同時に松竹座専属となりましたが、大正15[1926]年4月、松竹座の開場三周年を記念して初めて披露されたのがこの『春のおどり』です。当時春になると催されていた花街の踊りに対し、独自の踊りを作ろうと考えたことから生まれたとされており、日舞と洋舞で構成された公演は好評を博し、23日間大入りとなりました。以来『春のおどり』は春の風物詩となり、現在まで上演されています。閲覧室ミニ展示では、この初演のプログラムを含め、各年代の『春のおどり』の資料を計7点展示しています。

楽劇部(後の東京松竹歌劇団(SKD)、平成8[1996]年解散)が誕生しました。以来、SKDとの合同公演も、戦後にかけてたびたび行われました。



戦前から戦後にかけてのSKD(東京松竹歌劇団)との合同公演のプログラム  
右:国際劇場 昭和24年11月  
左下:浅草松竹座 昭和3年12月  
左上:東京劇場 昭和6年5月、8月  
(※浅草松竹座プログラムを展示)

全劇団員52人サイン入りの桜ミニパラソル展示中です!



OSK日本歌劇団様のご厚意で、全劇団員52人のサイン入り桜ミニパラソルをお借りしました。4月4日より当館閲覧室ミニ展示のケース横に展示しています。閲覧室が桜が咲いたように華やかになっております。また、本年1月に大阪松竹座で行われた「OSK日本歌劇団創立100周年記念式典」のポスターもご寄贈いただき、展示しております。「桜ミニパラソル」は、OSK公演のフィナーレの『桜咲く国』で登場する「桜パラソル」をミニサイズにした特別仕様のパラソルです。スターの動きに合わせて客席で使用できる、ファンには嬉しいOSKの公式グッズです。

下左よりプログラム「春のおどり」戦前資料「大阪松竹座」大正15年初演(昭和2年2冊)中央:カード「昭和6年、昭和9年」上左よりプログラム「昭和6年、昭和9年」(※このうち大正15年初演、昭和9年プログラムを展示)



また、OSK前身の松竹楽劇部は、東京松竹歌劇団(SKD)の誕生にも深く関わっていたことも知られています。昭和3[1928]年8月、東京の浅草松竹座の改築開場時に大阪松竹楽劇部110名が上京し公演に参加、この好評を受けて東京松竹

所蔵資料展示「OSK日本歌劇団創立100周年」

展示期間:2022年 3/17~4/27/展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室  
※現在、資料のご利用は前日までの予約制となっておりますが、展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。※開館日につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のホームページをご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。TEL 03-5550-1694(平日:10時より17時)

## ■歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第4回が掲載されています

当館スタッフが執筆を担当する歌舞伎座筋書連載【松竹大谷図書館の名品】。4月は「切符袋」です。当館は、大正時代から現在の第五期歌舞伎座まで、各年代の多彩なデザインの切符袋を所蔵しています。(切符袋は原則非公開)

今回の連載では、4月興行にちなんだ桜の花の切符袋や、第四期歌舞伎座さよなら公演の切符袋についてご紹介しております。デザインは、2022年3月1日にご逝去された、東京藝術大学名誉教授・荒川明照氏によるものです。荒川氏は長年にわたり歌舞伎座の筋書の挿絵や切符袋、『ほうおう』の表紙の絵などを描かれており、歌舞伎ファンの眼を楽しませてきました。



昭和期の4月切符袋

## 新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

### ◆松竹系3月演劇公演資料

○ … 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新・三国志 関羽篇』	○	○		
	『天衣紛上野初花 河内山』	○	○		
	『芝浜革財布』	○	○	○	○
	『信州川中島合戦 輝虎配膳』	○	○		
	『増補双級巴 石川五右衛門』	○	○		
新橋演舞場	『毒薬と老嬢』			○	○
	『レビュー春のおどり』	○		○	○
サンシャイン劇場	『行先不明』		○	○	○
南座	『番町皿屋敷』	○		○	○
	『芋掘長者』	○			
松竹座	『正門良規Solo Live SHOW with関西ジャニーズJr.』				

プログラム、床本/劇団銅鑼『泣くな研修医』東京芸術劇場シアターウエストプログラム、台本/『ピアフ』シアタークリエプログラム/秋田雨雀・土方与志記念青年劇場『裸の町』青年劇場スタジオ結プログラム、台本/『第327回歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム

◆映画資料 (順不同) 『ウェディング・ハイ』ポスター、プレス、プログラム、台本/『東西ジャニーズJr. ほくらのサバイバルウォーズ』ポスター、プログラム、台本/『銀河英雄伝説 Die Neue These 激突第二章』プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『THE BATMAN ザ・バットマン』『TITANE チタン』

◆演劇雑誌 (順不同) 『Bandaly』21号/『Bunkamura magazine』No.196/『Confetti』2022年April/『KENSYO』Vol.124/『SAKURA TIMES』Vol.41/『SePT倶楽部 information』2022年2月号、3月号/『あぜくら』2022年3月号/『えんぶ』2022年4月号/『ほうおう』2022年5月号/『ステージ・ファン』Vol.4-Vol.7/『ステージぴあ』2022年3+4月号/『テアトロ』2022年4月号/『ミュージカル』2022年3月-4月号/『ラ・アルプ』2022年4月号/『喝采』2022年6月/『芸劇BUZZ』Vol.39/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.48/『江原河畔劇場通信』特大号/『国立演芸場公演ガイド』令和4年4月号/『座・高円寺』No.26/『大向う』令和4年4月号/『日本芸術文化振興会ニュース』2022年4月号/『日本照明家協会誌』2022年3月号/『日本舞踊』74巻4月号/『舞台芸術』Vol.25/『邦楽の友』令和4年1月-2月合併号

◆映画雑誌 (順不同) 『J movie magazine』Vol.40-Vol.44, Vol.46, Vol.48, Vol.50-Vol.68, Vol.71-Vol.79/『NFAJプログラム』No.35/『SCREEN』2022年5月号/『TVガイド』2022年3/11号, 3/18号, 3/25号, 4/1号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年5月号/『キネマ旬報』2022年4月上旬号, 4月下旬号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol.41/『シナリオ』2022年5月号/『シナリオ教室』2022年4月号/『ドラマ』2022年4月号/『ムービー・スター』2022年5月号/『ムービータイムス』7063号-7078号, 7082号/『ロケーションジャパン』2022年4月号/『映画テレビ技術』2022年4月号/『映画ビジネス』1246号, 1247号, 1249号-1252号, 1254号-1256号/『映画時報』2022年3月号/『映画秘宝』2022年5月号/『映画論叢』59号/『松竹[社報]』228号/『日経エンタテインメント!』2022年4月号/『立教映像身体学研究』9号

### ◆他社演劇公演資料 (2022年1月-3月) (順不同)

劇団かもめんたる『S.ストーリーズ』座・高円寺1プログラム/ブリュール『銀色のライセンス』中野ザ・ポケットプログラム/モダンスイマーズ『だからピリーは東京で』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/近藤芳正Solo Work『ナイフ』東京芸術劇場シアターイーストプログラム/KAATカナガワ・ツアー『冒険者たち』神奈川芸術劇場中スタジオプログラム/燐光群『すびいくろうのう・ている』シアタートップスプログラム/ほりぶん『かたととき』紀伊國屋ホールプログラム/劇壇ガルバ『THE PRICE』吉祥寺シアタープログラム/ヨーロッパ企画『九十九龍城』本多劇場プログラム/劇団俳優座『カミノヒダリテ』俳優座稽古場プログラム/名取事務所『ペーター・ストックマン』吉祥寺シアタープログラム、台本/『市川猿之助藤間勘十郎春秋座花形舞踊公演』春秋座プログラム/玉造小劇場『サヨウナラバ』ザ・スズナリプログラム/『戯曲リーディング『ハムレット』より』世田谷パブリックシアタープログラム/劇団青年座『ある王妃の死』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/劇団東演『商船ティナシティ』東演パラータプログラム、台本/無名塾『左の腕』シアター1010プログラム/『林祐樹舞踊らいぶ』浅草小劇場プログラム/『僕はまだ死んでない』博品館劇場プログラム/DIAMOND☆DOGS『White Valentine Show』博品館劇場プログラム/『第219回文楽公演』国立劇場小劇場

## 資料提供 (2022年2~3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【展示】企画展「追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語」2022年3月18日~6月12日鎌倉市川喜多映画記念館 「松竹大船撮影所」「松竹キネマ蒲田撮影所」スチール写真を提供

【出版】『歌舞伎特選DVDコレクション第65号』2022年2月9日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「俳優書画帖」を提供/『歌舞伎江戸百景 浮世絵で読む芝居見物ことはじめ』2022年2月16日小学館 「組上燈籠絵『菅原天神記車引組上ケ五枚続』」を提供/『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 (第七期)』2022年2月25日玉川大学出版部 義太夫正本『将門冠合戦』『伊豆院宣源氏鏡』『歌枕棟栗花合戦』を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第67号』2022年3月9日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「舞台のおもかげ」を提供/『共楽館資料集』2022年3月20日認定NPO法人共楽館を考える集い 「第二期歌舞伎座外観」スチール写真を提供

【プログラム掲載】「二月大歌舞伎」2022年2月歌舞伎座 連載「松竹大谷図書館の名品」に「組上燈籠絵『菅原天神記車引組上ケ五枚続』」を提供/「三月大歌舞伎」2022年3月歌舞伎座 連載「松竹大谷図書館の名品」に「伊藤熹朔舞台装置図『鳥辺山心中』」及び舞台面写真を提供

# 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和4[2022]年3月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座  
歌舞伎座サービス株式会社  
歌舞伎座舞台株式会社  
有限会社合同通信社  
松竹株式会社  
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター  
松竹音楽出版株式会社  
松竹芸能株式会社  
株式会社松竹サービスネットワーク  
松竹ブロードキャスティング株式会社  
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 (敬称略)

島峰清

どうもありがとうございます

## 松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》(※2021年11月1日改定)

- 開館時間 10:00~17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。  
当日のご予約は、お席に空きがあった場合のみ承ります。  
松竹大谷図書館 03(5550)1694(平日10時~17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。

《ご予約について》

- ★10時から17時まで、1時間ごとに最大3時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索: <https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら: <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/211101.html>



- 利用案内●[開館時間]平日10:00~17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館  
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階  
TEL:03-5550-1694  
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>  
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>